

令和5年度 ひきこもり支援について【北海道分】（札幌市を除く）

I ひきこもり支援状況等調査について

1 市町村の状況

① 市町村におけるひきこもりの把握状況について (n=178)

	把握市町村数	把握数	支援有市町村数	支援者数		
R1	94	52.8%	1,011	74	41.6%	663
R2	102	57.3%	1,117	77	43.3%	722
R3	88	49.4%	1,257	79	44.4%	807
R4	86	48.3%	1,392	87	48.9%	703
R5	83	46.6%	1,535	87	48.9%	872

※把握数は実数で把握している人数を計上とした。

※推計人数を算出するにあたり、対象とした年齢は自治体によって異なります。

	実数を把握		推計人数を把握			
	把握市町村数	人数	把握市町村数	人数		
R5	83	46.6%	1,535	29	16.3%	3,103

R5	人数把握あり、支援実績あり	57	32.0%
	人数把握あり、支援実績なし	18	10.1%
	人数把握未実施だが支援実績あり	30	16.9%
	人数把握、支援実績ともになし	73	41.0%

\*R5年齢階層別把握数・支援者数（実数）

年齢階層	把握数					支援者数					支援につながった割合 (B÷A)
	総数 (A)	男	女	性別不詳	総数 (B)	男	女	性別不詳			
15歳未満	138	8.8%	71	67	0	52	6.9%	25	27	0	37.7%
15～19歳	161	10.6%	86	69	6	79	8.3%	47	26	6	49.1%
20～29歳	228	16.5%	136	75	17	164	18.8%	95	52	17	71.9%
30～39歳	220	15.4%	134	72	14	145	19.2%	92	39	14	65.9%
40～49歳	240	18.8%	175	55	10	187	20.5%	132	45	10	77.9%
50～59歳	257	17.7%	179	70	8	155	16.5%	104	43	8	60.3%
60～69歳	109	6.7%	73	36	0	54	7.8%	41	13	0	49.5%
70歳以上	30	1.7%	11	18	1	22	1.3%	9	13	0	73.3%
年齢不詳	152	3.8%	30	11	111	14	0.7%	6	7	1	9.2%
総数	1,535	100%	895	473	167	872	100%	551	265	56	56.8%

※1,535名のうち、支援につながった割合。

② ひきこもりの把握方法（複数回答可） (n=83)

1. 住民を対象とした調査を実施（無作為抽出）	1
2. 住民を対象とした調査を実施（全戸配布）	0
3. 住民を対象とした調査を実施（その他の方法）	2
4. 民生委員・児童委員等を対象とした調査を実施（聞き取りを含む）	16
5. 関係機関・関係団体等を対象とした調査を実施（聞き取りを含む）	17
6. 日々の業務（相談対応、訪問、他部署・機関からの情報提供等）で把握	79

③ 生活困窮者就労準備支援事業等の国庫補助の利用状況 (n=178)

	ひきこもりサポート事業	ひきこもり支援ステーション事業	ひきこもり地域支援センター事業
R2	1		
R3	4		
R4	4	1	
R5	3		2
R6	6	1	2

④ ひきこもり当事者及び家族会等の状況（市町村、保健所、精保センターで把握している数）

当事者	家族会	その他	計
11	31	13	55

2 保健所・精神保健福祉センターの状況

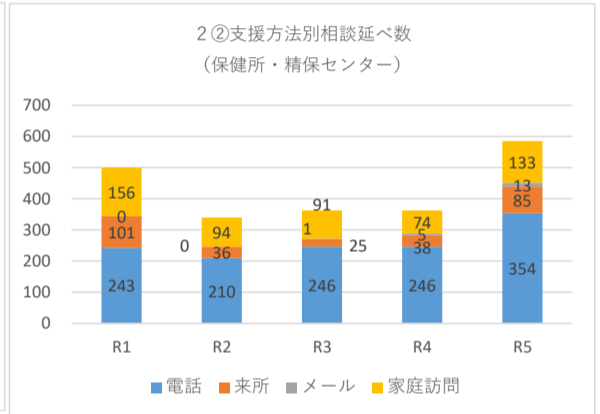
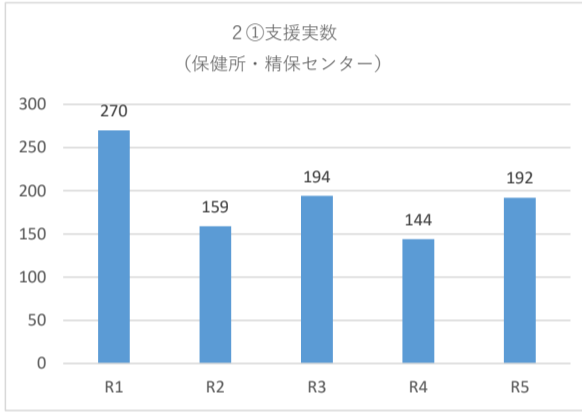
① 支援実数（精神保健福祉センターは家庭訪問実績なし）

支援方法	R1	R2	R3	R4	R5
電話	156	101	142	97	
来所	62	28	20	16	**
メール	0	0	1	3	
家庭訪問	52	30	31	28	
計	270	159	194	123*	192

\*方法が重複している対象者いるため合計と数一致しない  
\*\*令和5年度は実数の相談手段別実数なし

② 支援延数（精神保健福祉センターは家庭訪問実績なし）

支援方法	R1	R2	R3	R4	R5
電話	243	210	246	246	354
来所	101	36	25	38	85
メール	0	0	1	5	13
家庭訪問	156	94	91	74	133
計	500	340	363	363	585



3 市町村・保健所・精神保健福祉センター共通項目

① 支援ケースの状況について

	R4			R5		
	保健所	精保センター	市町村	保健所	精保センター	市町村
1 居場所につながったり家族会や当事者会につながった事例	2	3	61	23	1	65
2 ボランティアや地域活動、福祉サービスや就労・就学につながった事例	7		137	10		128
3 支援が長期にわたって継続しているが変化がない事例	36	5	249	49	1	276
4 本人または家族が希望して支援が終了した事例	3	1	34	4		33
5 支援が中断してしまった事例	5		17	3		36
6 初回相談のみの事例	23	20	71	29	28	111
7 その他	18		83	41	3	155
合計	94	29	652	159	33	804

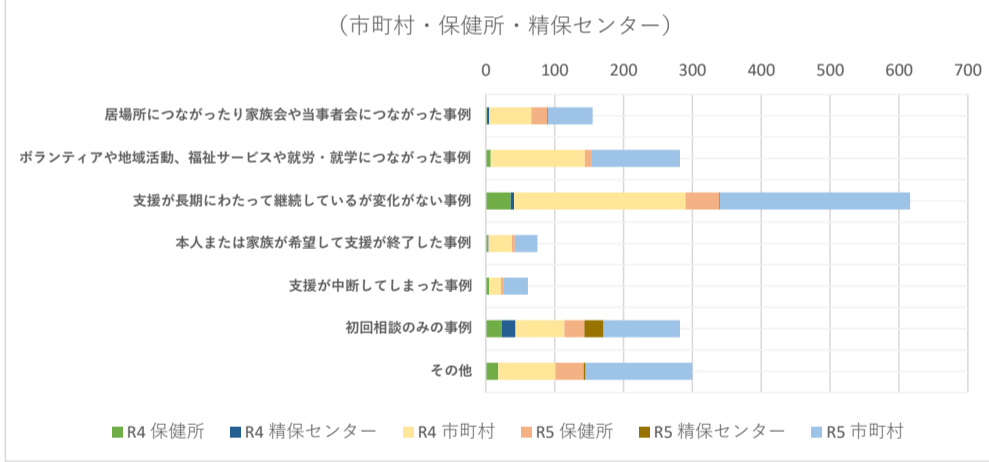
[その他内容]  
・家族への支援  
・受診調整  
・他機関・市町村に引き継ぎ  
・関係機関への支援  
・少しの変化や家族の関わりに変化がみられる

② 支援上の課題について（保健所および精保センター）

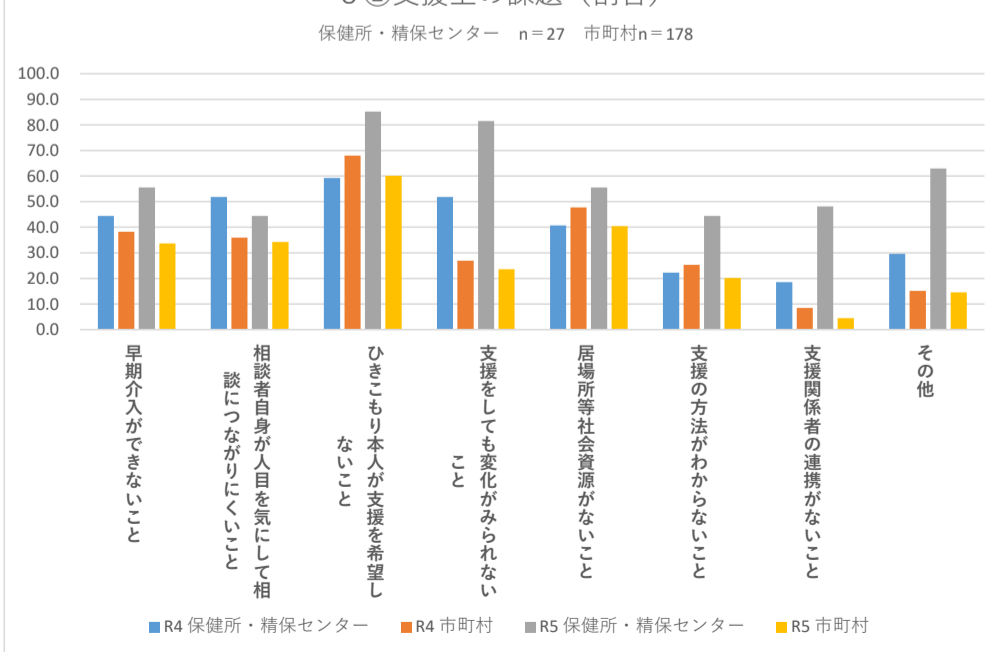
	R4		R5	
	保健所・精保センター	市町村	保健所・精保センター	市町村
1 早期介入ができないこと	12	68	15	60
2 相談者自身が人目を気にして相談につながりにくいこと	14	64	12	61
3 ひきこもり本人が支援を希望しないこと	16	121	23	107
4 支援をしても変化がみられないこと	14	48	22	42
5 居場所等社会資源がないこと	11	85	15	72
6 支援の方法がわからないこと	6	45	12	36
7 支援関係者の連携がないこと	5	15	13	8
8 その他	8	27	17	26

[その他内容]  
・家族も支援を希望しないこと  
・家族と本人の目標・希望が乖離していること  
・ケースの背景や課題が複雑化していること

3① 支援ケースの状況（市町村・保健所・精保センター）



3② 支援上の課題（割合）



II 北海道ひきこもり成年相談センターの相談状況について

	相談実人数		相談延人数									
	人数	うち新規	個別相談							訪問		
			小計	電話	来所	メール	出張相談等	小計	本人・家族	その他訪問		
R1	139	114	396	383	127	65	189	2	13	5	8	
R2	116	92	524	511	121	100	289	1	13	7	6	
R3	122	91	513	508	142	63	303	0	5	4	1	
R4	123	94	562	549	147	91	309	2	13	10	3	
R5	84	56	354	324	59	64	197	4	30	25	5	